

# 社会福祉法人による 夜間外来を行う診療所の運営

(スポーツ整形外科・整形外科・リハビリテーション科)

社会福祉法人 みどり福祉会 (神奈川県)

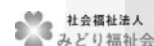
住所	〒227-0053 神奈川県横浜市青葉区さつきが丘 8 番地 4 号
TEL	045-971-4602
URL	<a href="https://midorifukushikai.or.jp">https://midorifukushikai.or.jp</a>
経営理念	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を、使命感をもって確実、効果的かつ適正に行う</li><li>・ 高齢者の「尊厳保持」「自立支援」を基礎に、「人権擁護」「情報開示」「個人情報保護」を遵守する</li><li>・ 地域の高齢者が安心して住める街づくりの拠点施設としての役割を十分認識し、積極的に地域との関係を深め、各所の協力を得て援助事業を行う</li><li>・ 制度の枠にとらわれず、先駆的、積極的にセーフティネットの役割を担う</li><li>・ 我々みどり福祉会職員は、ご利用者のご家族の満足と笑顔を職員の喜びとする</li></ul>
事業内容及び定員	特別養護老人ホーム (従来型 80 名) 1 ヶ所 (ユニット型 80 名) 1 ヶ所 (介護予防) 短期入所生活介護 (従来型 4 名) 1 ヶ所 (ユニット型 10 名) 1 ヶ所 ※ ともに特養併設 通所介護 (通常規模型) 2 ヶ所 ※総合事業・相当サービスも同時に実施 訪問介護 1 ヶ所 ※ 相当サービスも同時に実施 居宅介護支援 4 ヶ所 地域包括支援センター 2 ヶ所 診療所 1 ヶ所

収入 (法人全体) 令和 3 年度決算	①社会福祉事業	1,194,292,364 円
	②公益事業	219,436,753 円
	③収益事業	円
職員数 (法人全体)	265 名 (非常勤を含む)	

# 社会福祉法人における 夜間外来を行う診療所の運営

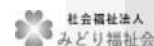
(スポーツ整形外科・整形外科・  
リハビリテーション科)

社会福祉法人 みどり福祉会  
B&Jクリニックお茶の水



## 法人概要

- 【法人名】 社会福祉法人みどり福祉会
- 【本部所在地】 神奈川県横浜市青葉区さつきが丘
- 【設立】 1979（昭和54）年1月
- 【理事長】 戸田 堯子（とだ たかこ）
- 【職員数】 265名（非常勤職員を含む）



# 事業内容



# 沿革 ～みどり福祉会の根底に流れるもの

【昭和20年】

社団法人日本厚生団（横浜市戦災者同盟が前身）

- ・ 戦災者救済を目的に発足、戦災孤児の保護にあたる
- ・ 後にボーイズホームを設立、その中に診療所を設けて  
病気に苦しむ女性や性病の撲滅に尽力



【昭和30年】

長津田厚生病院（現在の長津田厚生総合病院）

- ・ 当時無医村であった横浜市港北区長津田町に地域の要望に応じて開設、  
地域医療に尽力



【昭和54年】

社会福祉法人みどり福祉会設立と特別養護老人ホームひかり苑の開設

- ・ 地域からの高齢者施設開設への要望が寄せられる中、地域の方々の協力を得て



すべては「必要とする方々のため、地域のため」

## なぜ「B&Jクリニックお茶の水」なのか

- 先代の理事長（長津田厚生総合病院 病院長）  
スポーツ振興法、スポーツ基本法に基づき、オリンピック・パラリンピック  
開催などスポーツが盛んになる一方で、子どもたちやスポーツ障がい者の状  
況を憂慮

「リハビリに通えない」 「治療を途中で断念」  
「夢をあきらめる」 「生活上の支障を抱える」 etc.

こうした事業は我々のような小さな法人のすることではない



誰かが始めないと子どもたちは困るばかり

「見て見ぬふりはできないから、  
自分たちのできることから  
始めよう」

## 診療所の開設

- 平成28（2016）年6月  
B&Jクリニックお茶の水を  
東京都千代田区神田駿河台に開設



### ?なぜ「お茶の水」？

- ・ 東京医科歯科大学、順天堂大学、日本大学等スポーツ整形に力を入れている大学病院が多数ある
- ・ 日本武道館、講道館、国立競技場等、主要な運動施設から至便
- ・ 学校帰りや会社帰りの来院にアクセスが良い（学校も多い）

## 4つの特徴

(B&Jクリニックお茶の水 公式ウェブサイトより)

### スポーツ整形

- ・ アスリートの状況に応じて早期に症状を改善させることを目指した治療



### リハビリテーション

- ・ 理学療法士による個々の症状に応じた運動療法や物理療法



### 一般整形外科

- ・ スポーツ医学から得られた治療技術を応用した日常生活の痛みに対する治療



### 再生医療

- ・ PRP(多血小板血漿)療法を用いた難治性のスポーツ障害や関節症に対する治療



## 大学病院の不十分な部分

### ■ 大学病院では・・・

- 診療時間は基本的に9時から16時  
→ 学生や会社員など日中時間がない人は受診が難しい
- たくさんの患者が集まる高度な医療機関  
→ 全ての患者が治療対象とならない、外来が混んでじっくり診察を受けられない
- 整形外科は、基本的には手術を請け負う  
→ 保存療法（リハビリや注射のみ）を続ける人を多数診療できない
- リハビリ  
→ 外来通院リハの患者数が限られる（大学によっては外来リハができない）、理学療法士が少ない、スポーツトレーナーがほぼいない

## 整形外科に関わる治療上のジレンマ

### ■ 運動器リハの重要性とニーズ

- 整形外科の扱う運動器傷害の治療には、手術的治療のみならずリハビリテーションを中心とした保存的治療が有用なケースが多い。また、手術治療を行った場合でも、術後のリハビリテーションがその治療成績を左右するといっても過言ではない。
- 超高齢社会となった日本では、いわゆる寿命と健康寿命とのギャップが十数年あり、運動器疾患を扱う整形外科における診断とリハビリテーションのニーズと重要性は改めて説明するまでもない。

### ■ 学生患者、アマチュアプレーヤーの通院

- 学生アスリート、部活動でケガをした患者（学生患者）は、平日の昼間（病院の診療時間内）には、授業を休めない等の理由で通院が困難である。
- プロスポーツ選手は自分の時間のすべてを治療に使えるが、レベルの高い選手であってもアマチュアの場合、昼間の仕事に従事しているがゆえに通院できない選手が多い。

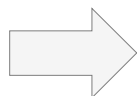
## 整形外科に関わる治療上のジレンマ

### ■ 質の高い理学療法士とリハビリ時間

- 質の高いアスレティックリハビリテーション（運動器リハビリテーションを含む）を受けられる施設は限定的
- 質の高いリハビリには相応の理学療法士が必須であるが、かかりつけ医となるはずの多くの診療所では、人件費の観点から理学療法士を雇わず、いわゆる電気を当てるだけの物理療法をリハビリと称して治療を行っている。
- 質の高い理学療法士のいる大学病院などの基幹病院は、診療時間が遅くても17時までの施設がほとんど
- 手術加療を行っている基幹病院では、混雑や経営上の理由から退院後の外来通院リハを全く行っていないか、十分に行うことができないのが現状（退院後は質の保証されない診療所に転院してリハビリを継続）

## そこで、私たちは・・・

- スポーツ整形外科・リハビリテーションに注力、  
運動器に特化したリハビリテーションを提供
- 整形外科全般に対応（高齢者の膝、肩の障害など）
- 大学病院との医療連携
  - ・ 他院で受けた手術後のリハビリテーションに対応
  - ・ 大学病院・基幹病院への紹介を仲介（紹介状の作成など）
  - ・ 手術が必要な場合、B&Jクリニックのドクターが執刀することも可能
- 夜19時30分までの夜間外来の設置
  - 学童、学生・社会人アスリートも受診・通院可能



課題となる機能を補完



## スタッフ

### ● 医師

- ・ 著名プロスポーツ選手の執刀医を  
スーパーバイザーに（開設時）
- ・ スポーツ整形外科に通じたドクター
- ・ 現（元）プロスポーツ・大学運動部の  
チームドクター

### ● 理学療法士

### ● 理学療法診療アドバイザー

### ● 義肢装具士

- ・ **豊富な経験**
- ・ **高い専門性**
- ・ **幅広い対応性**

## 思いに寄り添う

「他で安静にするように言われたけど  
大事な試合が控えていてどうしても出たい」

患者さんの「絶対に出たい」という切実な思い

痛みを和らげ悪化を避けながら、試合で患者さんが最高のパフォーマンスを發揮できる方法を考えることも

- 教科書的な正解の型にはめるだけでなく、患者さんの背景や気持ちを考え、これまでの努力などを考慮した上で診療方針を検討することを強く意識

## 診療所運営による効果

- クリニックの職員採用に際して、開設目的が明確であったため、運営方針に賛同する職員が集まるとともに、定着度が高く、安定的に治療にあたることができている。
- 高齢分野での職員採用においてクリニックの運営のことを伝えると、法人の取り組みを多角性があると受け止めて応募につながるケースも。
- みどり福祉会の法人としての役割は日常をこなすだけのものではなく、社会が求めていることに対応していくことであるというメッセージの具現化として認識され、特に年度初めの新人職員研修（新年度採用者と前年度中途採用者に対する研修）においては、事業所見学でも関心が高く、職員の帰属意識醸成につながっている。

## 今後の課題

- 現在の診療所は、都心で交通の便もよいこともあり、認知度が高まるにつれて来院者数も増えてきている。それに伴い、診療やリハビリのスペースが手狭になり、混雑や診療に時間がかかるなどの弊害も生じてきているため、新たな物件の検討も必要になってきている。
- 夜間診療を行うにあたり、一般的なクリニックと勤務時間帯が異なるため、特に事務職員の採用に苦慮している。
  - 様々な要因による、「経営」することの大変さ
- 地域住民への運動器障害の予防活動、健康寿命延伸活動のサポートを運営方針に掲げているが、開設当初は事業を軌道に乗せることを優先課題としていたこと、近年は新型コロナウイルスの影響もあり、具体的な取り組みへとつなげられていない。
  - 中学・高校の部活動でのメディカルチェックなどは実施し、治療だけでなく、ケガを予防し、安全に長く好きなスポーツに打ち込めるよう指導に取り組む。

支援を必要としている人は多岐にわたる

「誰かがやればいい」「私たちにはできない」ではなく

社会福祉法人として関われる部分が「何か」ある

その時に…

法人運営の根底に流れている思いと

この思いを胸に、職員一人一人が福祉に取り組みます

「見て見ぬふりはできない

自分たちのできることから

始めよう」

## 法人の活動については・・・

社会福祉法人 みどり福祉会  
公式ウェブサイト

<https://midorifukushikai.or.jp>



B&J クリニックお茶の水  
公式ウェブサイト

<https://bj-clinic.com/>

